

**製品名: PKC ベータ 1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86529**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:77 kDa; Observed MW:77 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PKC beta 1
別名	PKCB; PRKCB1; PRKCB2; PKC-beta
遺伝子 ID	5579
SwissProt ID	P05771
免疫原	ヒト PKC ベータ 1 の合成ペプチド

**背景**

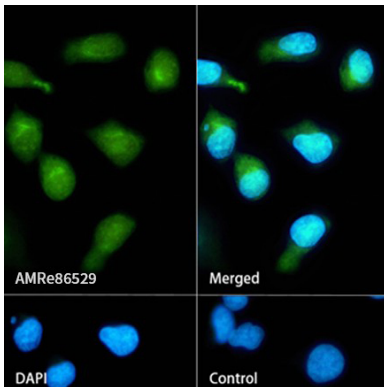
プロテインキナーゼ C (PKC) は、カルシウムおよびセカンドメッセンジャーであるジアシルグリセロールによって活性化されるセリ

ンおよびスレオニン特異的プロテインキナーゼのファミリーです。PKCファミリーのメンバーは、多種多様なタンパク質標的をリン酸化します。また、多様な細胞シグナル伝達経路に関与することが知られています。PKCファミリーのメンバーは、腫瘍プロモーターの一種であるホルボールエステルの主要受容体としても機能します。PKCファミリーの各メンバーは特異的な発現プロファイルを持ち、細胞内で異なる役割を果たしていると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PKCファミリーのメンバーの1つです。このプロテインキナーゼは、B細胞の活性化、アポトーシス誘導、内皮細胞の増殖、腸管糖吸収など、多くの異なる細胞機能に関与することが報告されています。マウスを用いた研究では、このキナーゼが神経機能を制御し、ストレス後の恐怖誘発性葛藤行動と相関している可能性も示唆されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



PKC ベータ 1 ウサギモノクローナル抗体を使用して PKC ベータ 1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。